

[見直す] なんでも

車のラゲッジを見直す(イレクターで棚を作る)

Tomo

はじめに



深夜の車の移動が多かったり、出先でコンビニまで距離がある時にコピーやスキャンが出来るという事があり、複合機を積みつつ、仮眠や車中泊の為にアイテムを軽自動車に積んでも、無理がないように棚を作ってみました。

イレクターで目的に合わせて別の組み方をすれば、寸法なども自由に構成できるのでお薦めです。

時間はパイプの切断と位置や長さの確認がほとんどです。





費用は棚の材料費のみの計算です。







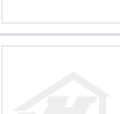
所要時間 2時間

かかった費用 およそ4,000円



必要なもの・準備

材料で必要なもの

	材料名	サイズ	数量
	<u>イレクター パイプ H-2000 S ブラック</u>		3
	<u>イレクター ジョイント J-118B S ブラック</u>		4
	<u>イレクター ジョイント J-119B S ブラック</u>		1
	<u>イレクター ジョイント J-147 S ブラック</u>		2
			1

	<u>イレクター ジョイント J-4 S ブラック</u>		
	<u>イレクター ジョイント J-5 S ブラック</u>		4
	<u>イレクター ジョイント J-49 S ブラック</u>		2
	<u>イレクター ジョイント J-12D S ブラック</u>		1
	<u>サンアロー イレクター用接着液</u>		1
	<u>パンク修理自動車用 応急パンク修理剤 300ml 軽自動車~小型車対応 F-53</u>		1
	<u>セルスター コンバーター DCU-302</u>		1

道具で必要なもの

	道具名	サイズ	数量
	<u>コンベックス コンベハイ13 メートル目盛 2m</u>		1
	<u>イレクター ハンドカッター EK-1</u>		1

車のラゲッジを見直す(イレクターで棚を作る)

ステップ1 ラゲッジ(荷室)を見直す

ラゲッジトレイが浅くて入れるものが制限されあまり使ってなかった。
 スペアタイヤ重いし、パンク修理用品を積みば、
 スペアタイヤを車から降ろせる。
 (ただし使用期限があるものは定期的に交換が必要です)



…というわけで降ろします。

ステップ2 夏場アスファルトがベタベタするので



スペアタイヤを収納してた部分が、吸音の為にアスファルト系のシートが貼られてたので、荷物が汚れないようにシートを切り出しました。何でもいいと思うんですが自分はコタツの下に敷く様なシートだっと思います。

ステップ3 ベースになる部分を組みます



ラゲッジトレイの蓋の部分の段差にすっぽりと収まるように組みます。

私のスズキのkeiの場合、パイプ長は、横933mm、奥行き398mm
持ち上げない限り、ずれないくらいぴったりです。

なんでそんなにぴったり組めるかは、次のステップで

ステップ4 足し算できれば大丈夫

ジョイントにパイプがどれだけ刺さるかを測るか
r調べ
組みたい所の両隅に角のパーツを仮置きして間の



距離をメジャーで測ります。

パーツ間の距離
+パーツに刺さる長さ
+パーツに刺さる長さ
=必要なパイプの長さ

になるわけです。

パイプの切断は径が合えばパイプカッターで切れなくもないですが、専用カッターの方が長いハンドルが付いてて切りやすく、時間の短縮になります。

ステップ5 ベースの上に目的にあった棚部分を組みます



棚らしくなりましたが、棚板がないので、これだけでは？って感じですよ。

接着する場合は組んで歪みがない状態なのを確認して接着しましょう。

下にビニールシートなど接着液がたれても大丈夫なようにしておいた方がいいです。

イレクターはいろんなパーツがあるので、組み合わせ次第で目的の物が作れると思いますよ。

ステップ6 車に合わせて…



車によりますが、室内空間が台形だったりが多いので、必要に応じて工夫が必要です。

ステップ7 目的の物を積んで

複合機を積もうなんて人はそうそういないと思い



ますが
蓋がバタバタ動くので使うとき以外はバンドで固定しています。
前後はリアゲートとシートで挟まれて走行中はずれません。
電源はシガーソケットから100Vのコンセントを取れるインバーターを介して繋がります。
コピーはもちろん、パソコンがなくともUSBに画像をスキャンできる機種を選定したので、便利です。
ただ月1くらいの使用頻度なので、使うたびにヘッドのクリーニングが必要だったりします。

ステップ8 完成！



宙に浮いたので、立体的に広く使えますね。
10kg程度の複合機を、3本足で自立してます。
内装とぶつかる部分が気になる人はクッション材などを貼ったりしましょう。

ステップ9 車中泊でも



運転席側で寝ても複合機の下に足が逃がせます。
下に板を渡すか考えてますが、バッグなど荷物を置けば問題ないのでそのままにしています。
ツールボックスや枕、クッションなどで、純正状態に比べ結構フラットに近い状況にしています。
機会があれば車中泊の環境のレシピを書くかもしれません。

ステップ10 車中泊アイテムを収めても

まだ半分使えます。
将来的に自転車も乗せてみたい気がします。



これで運転中激しい眠気に襲われても安心です。

©JOYFUL HONDA All rights reserved. / Powered by TEAM★LAB Inc.